

健康公平性を推進する — ハームリダクション

プライマリケアに携わる機関や支援者のためのツール

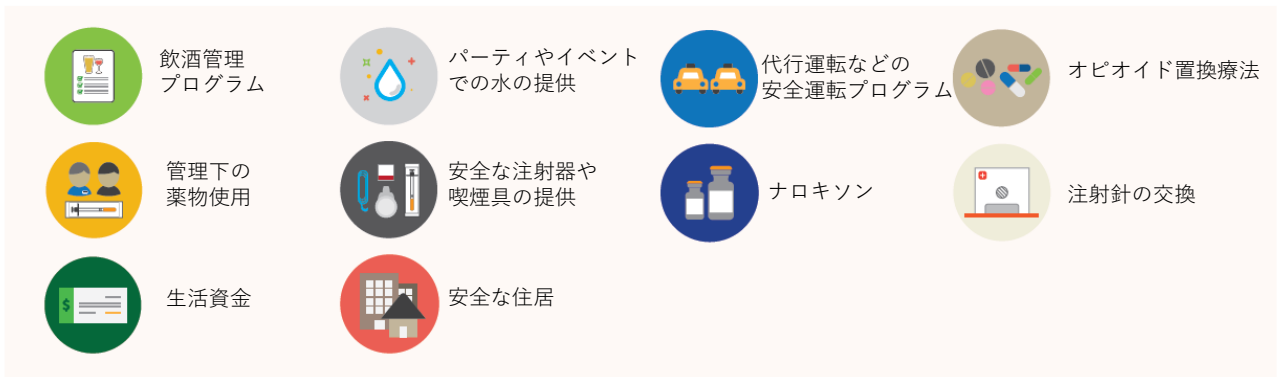
ハームリダクションとは

- ・ 哲学であり、プログラムやサービス
- ・ 物質使用そのものを減らすのではなく、物質使用にともなう害を予防することを重視する
- ・ 物質使用を健康問題と考える
- ・ 科学的エビデンスに基づいて活動する

ハームリダクションの実践とは

- ・ 人々のありのままを受け入れる
- ・ 審判的に関与しない
- ・ 一人一人の尊厳を大切にする
- ・ 思いやりをもつ
- ・ 不必要な害をもたらす政策や実践に異議を申し立てる — 例えば、薬物使用の犯罪化、医療の提供の拒否、住居供給の不足など

ハームリダクションに基づく実践の例



なぜ公平性の視点が必要なのか

図1の通り、公平性という視点は物質使用や使用に伴う害は社会的状況（暴力、トラウマ、悲嘆、喪失、低収入や住居の不足といった健康の社会的決定要因）によって悪化すると理解する助けになります。

- ・ 例えば、物質使用にともなう害（例：スティグマ、暴力、オーバードーズ、栄養失調、冠動脈疾患、肝硬変、HIV、C型肝炎、腫瘍）は、人種差別、貧困、住居問題、収入、メンタルヘルスに関連した困難に直面すると悪化します
- ・ 特定の物質は社会の中で特に偏見の目で曝され、これを経験するのは多くの場合社会的に不利な立場にある人たちです
- ・ 保健医療福祉における否定的であったり差別的な体験は、将来援助を求める行動を人々に躊躇させます。こういった害は、公平性やハームリダクションの視点に基づく援助を行う事で予防可能です。

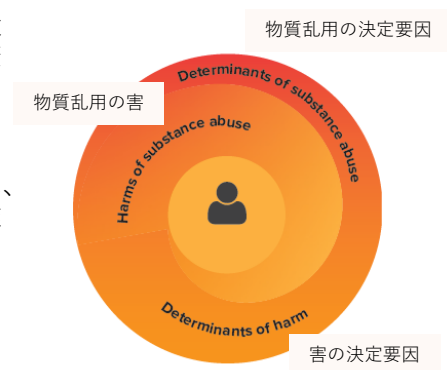


図1：物質使用を取り巻く社会的文脈

ハームリダクション

このツールで提案しているのは、公平性に基づくハームリダクションをあなたのプライマリケア活動で取り入れる事ができる具体的な行動です。ハームリダクション、文化的安全性、トラウマ＆バイオレンスインフォームド・ケア（TVIC）は健康公平性を達成するため相互に関係している概念です。

他のツール・・・ <https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/TVIC/index.html>



6つの視点を持つ

公平性に基づくハームリダクションの実践のため・・・

薬物使用とは

アルコールを含む、違法合法や、処方された物もそうでない物も含む

“アル中”
ではなく

“アルコール問題を持つ人”
と呼称する

“アディクト”や“依存症”
ではなく

“薬物を使用する人”
と呼称する

“クスリを使いたいだけ”
ではなく

“苦しんでいる”
と呼称する

1

薬物使用に対する社会の思い込みに疑問を持つ

社会一般の人たちは、薬物使用や、薬物を使用する人たちに対してどのような見かたをしていますか？

薬物使用について、あなたはどのように教わりましたか？薬物を使用する人に対してはどうですか？

過去の薬物使用の政策は、どのような経緯で違法とされる薬物と合法とされる薬物とを区別しましたか？

日本の薬物政策は、アメリカの“薬物戦争”からどんな影響を受けましたか？一部の利益を追求するためですか？

政策は、人々の薬物使用のパターンにどのような影響をあたえましたか？社会・経済政策はハームを規定する要因である貧困、住居の不足といった問題にどんな影響を与えましたか？

メディアは薬物使用に対する偏見（格差や人種）を助長しないようどの程度配慮していますか？

2

自分に疑問を持つ

あなたの人生や生活の中で、薬物使用はどのような役割を果たしていますか？使用する薬物と使用しない薬物とはどのように線引きしていますか？

あなた個人および支援者としての経験は、薬物使用に対する見かたにどんな影響を与えていますか？

飲酒する人に対して、あなたはどのように接しますか？違法薬物を使用する人への対応と違いはありますか？

全ての人に、平等に敬意が払われていますか？

3

言葉に疑問を持つ

薬物使用に関して、どんな言葉を聞くことが多いですか？些細な言葉やレッテル（またはラベル）であっても、害をもたらし、クライアントとの肯定的な関係を作る障害になります

あなたの組織や、組織の職員たちが薬物使用や薬物を使用する人に対してどんな会話をしているか振り返りましょう

安全とは

- ・ 犯罪として扱われず、暴力の危険に晒されたり、逮捕される危険がない
- ・ 安全な薬物や器具が使用できること
- ・ 安全とは何か自ら決める事ができ、いつ、どこで、誰と薬物を使用するか決定する自由がある

いきなり「どのくらいお酒を飲んでいるのですか？」（飲んでい

はずだ、という決めつけがある）

「お酒は飲みますか？」

と質問する

もしも「はい」と答えたら

「では、どれくらいの頻度で飲みますか？毎日？毎週？」（“毎日”から聞き始める事でアルコールを飲むのは普通のことで、飲酒量を控えめに言う必要はないと感じてもらえる）

そして

「一回の飲酒で、どれくらいの量を飲むことが多いですか？」

4 支援環境に疑問を持つ

対象者になったつもりで支援環境を振り返ろう。入り口を入ったときに、何が目に入り、どんな感じがするでしょう？対象者が安全で受け入れられていると感じるためにできることは？スティグマを助長するものは？

- ・ 待合室は温かみがあり、その人を歓迎していますか？
- ・ 歓迎していると分かる目印はありますか？目印は敬意に満ちたものですか？
- ・ 薬物使用を認めず、援助を求める人たちに訪れる事を躊躇させる目印はありませんか？
- ・ 訪れた時、どんなあいさつをしますか？
- ・ 水、コーヒー、軽食などは提供されていますか？
- ・ トイレの利用に関するポリシーはどうなっていますか？
- ・ もしハームリダクションの機器があるなら、安全に使用できる場所がありますか？注射器やその他の器具を廃棄するための箱は準備されていますか？
- ・ オピオイドの過剰摂取の際に使用できるナロキソンは用意されていますか？

5 支援に疑問を持つ

日々の支援はスティグマに対処できていますか？敬意を持ってコミュニケーションをとることは、排除されたり批判されたりしてしまうという恐怖を取り除くことができます。

どんなありふれたできごとでも、よりスティグマの少ない形で対応する事ができます。

- ・ もしもあなたのもとを訪れた人が、薬物の影響下にあったらどうなりますか？
- ・ もし薬物の影響下であると推測したら、見逃してしまう可能性があることはありますか？（例：神経学的問題、脳卒中、頭部外傷）
- ・ もし対象者が感情的になっていたら、「どうしてだろうか？」と自らに問いかけましょう。背後に何がありそうでしょうか？薬物使用の生理的作用でしょうか？空腹ではありませんか？十分に睡眠はとれていますか？偏見といったスティグマ的な接し方に対する反応ではありませんか？怒りの背景を理解するために、他にどういった情報が必要でしょうか？

中にはハームリダクショングッズ（チョコレート・バスケット・清潔な針）を自由に持ち帰れるよう置いているクリニックもあります。こういった取り組みは、希望者がわざわざ職員に声を掛けなくとも済むという点で、対象者に対する敬意を持った対応の好例と言えます。

6 “支援チームのメンバー”に疑問を持つ

意思決定のプロセスには誰が関わっていますか？また、誰が関与すべきでしょうか？

そこに薬物を使用する人たちが参加していますか？もしそうでないなら、どのようにして対象者と関わり、対象者からの意見を聞き、あなたの組織が提供するサービス・支援プログラム、支援環境を協働的に作り直すことができるのでしょうか？

ハームリダクションに基づく支援について より深く知りたい人のために（英語）

Harm Reduction International (2016).

What is harm reduction?

<https://www.hri.global/what-is-harm-reduction>

International HIV/AIDS Alliance & Harm Reduction International (2015).

Step by Step: Preparing for work with children and young people who inject drugs.

https://www.hri.global/files/2015/11/06/WEB2_Step_by_step_to_01.pdf

British Columbia Ministry of Health (2005).

Harm Reduction: A BC Community Guide.

<http://www.health.gov.bc.ca/library/publications/year/2005/hrcommunityguide.pdf>

BC Centre for Disease Control (2011).

Harm Reduction Training Manual for Frontline Staff.

<http://www.bccdc.ca/resourcegallery/Documents/Educational%20Materials/Epid/Other/CompleteHRTTRAININGMANUALJanuary282011.pdf>

BC Centre of Excellence for Women's Health (2010).

Women-centered Harm Reduction.

http://bccwh.bc.ca/wp-content/uploads/2012/05/2010_GenderingNatFrameworkWomen-centredHarmReduction.pdf

Canadian HIV/AIDS Legal Network, International AIDS Alliance, Open Society Institute, & Drugs INoPWU. (2008).

Nothing about us without us: A manifesto by people who use illegal drugs.

<https://www.opensocietyfoundations.org/reports/nothing-about-us-without-us>

Provincial Health Services Authority & BC Centre for Disease Control (2017).

Respectful language and stigma regarding people who use substances.

http://towardtheheart.com/assets/naloxone/respectful-language-and-stigma-final_244.pdf

Substance Use Treatment Journey: Peer Experiences (2018).

Peer map that illustrates what peers experience when they are not in treatment, and throughout their treatment and recovery journey.

<https://bcpsqc.ca/wp-content/uploads/2018/03/Peer-Map.pdf>

* 注意. このツールはブリティッシュコロンビア州の医療及び社会福祉サービスを想定して作成されています。類似するサービスや社会資源の情報は、それぞれの州や国によって異なり、その地域の援助機関から問い合わせてください

自分の物質使用について追加の援助の情報が知りたい、権利擁護に興味がある人のために（英語）

Where you can get naloxone across BC

<http://www.fraserhealth.ca/health-info/health-topics/harm-reduction/overdoseprevention-and-response/where-can-you-get-naloxone/>

Information on harm reduction supplies, naloxone, and harm reduction sites across BC:

<http://towardtheheart.com/>

Vancouver Coastal Health needle exchange locations:

<http://www.vch.ca/your-health/health-topics/needle-exchange/needle-exchange>

Vancouver Area Network of Drug Users (VANDU) is dedicated to

improving the lives of people who use illicit drugs through advocacy, community building, and promotion of harm reduction at all levels of government:

<http://www.vandu.org/>

SOLID, based out of Victoria, BC, provides support, education and advocacy to better the lives of people who use drugs:

<http://solidvictoria.org/>

引用方法（英語）

EQUIP Health Care. (2017). Promoting Health Equity – Harm Reduction: A Tool For Primary Health Care Organizations and Providers. Vancouver, BC. Retrieved from www.equiphealthcare.ca.

Version | December 2017

引用方法（日本語）

EQUIPヘルスケア (2017).健康公平性を推進するーハームリダクション:プライマリケアに携わる機関や支援者のためのツール. TVIC翻訳チーム訳, バンクーバー, カナダ.
<https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/TVIC/index.html>より

バージョン | 2025年3月

EQUIP Health Care & the Health Equity Toolkit are funded by CIHR

To learn more about EQUIP Health Care, please visit www.equiphealthcare.ca

To provide feedback about this tool, please visit <https://www.surveymonkey.com/r/VRBF7WJ>



文献

[1] Harm Reduction International (2016). What is harm reduction? A position statement from HRI. URL: <https://www.hri.global/what-is-harm-reduction>

[2] DSM 5 Criteria for Substance Use Disorder. (2017). <http://www.buppractice.com/node/12351>.

[3] Room, R. (2005). Stigma, social inequality and alcohol and drug use. Drug and Alcohol Review 24(2): 143-155.